

A

鶴ヶ城を中心として、中心市街地周辺地域

鶴ヶ城を中心として、歴史と伝統がいきづく、人と人がふれあう賑わいのあるまち

地域づくりの背景

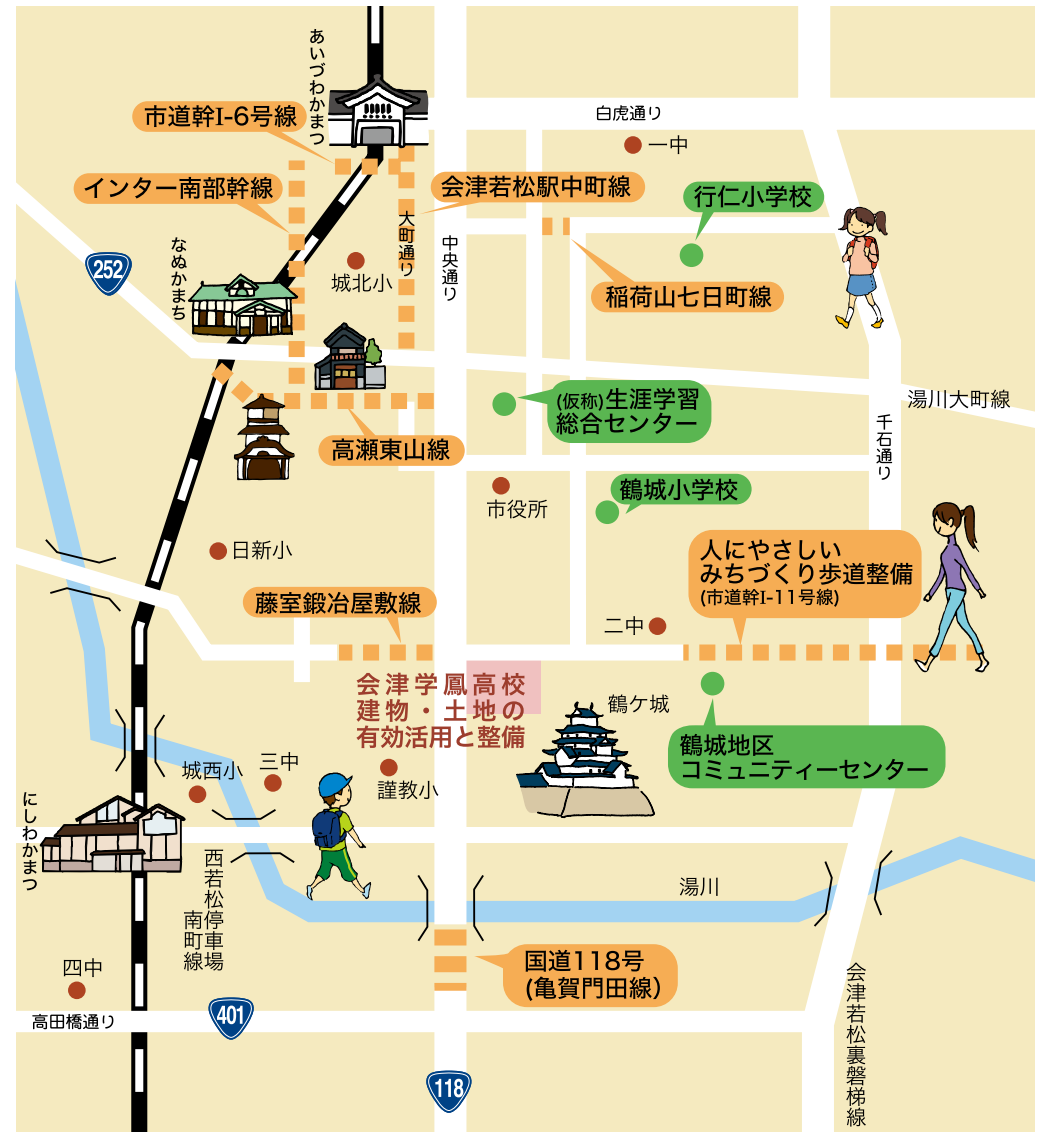
- 市のシンボルである鶴ヶ城をはじめ、史跡・名勝が数多く残されており、適正な保全・整備が求められています。
- 歴史的な建造物の保全や美しい景観の形成が求められています。
- 商業施設の郊外への進出による空洞化が進行しており、中心市街地の活性化のさらなる取り組みが求められています。
- 観光振興による交流人口の増加や観光施設を訪れる観光客のまちなかへの誘導などにより賑わいの創出に取り組んできましたが、さらなる取り組みが求められています。
- 県立博物館や會津風雅堂、文化センター、図書館などが集積しています。
- 本市の芸術・文化の中心として、成果発表や鑑賞の機会の充実が求められています。
- 高等学校や官公庁などの公共・公用施設が集積する市の中心として、交通基盤の整備や都市機能の充実など、さらなる利便性の向上が求められています。

地域づくりの目標

- ★鶴ヶ城を中心とした歴史と伝統がいきづくまちをつくる
- ★人と人がふれあう賑わいのあるまちをつくる
- ★安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

- 観光客や市民の憩いの場所として鶴ヶ城の保存整備を推進し、観光の拠点や公園としての魅力・機能の向上を図ります。
- 歴史的建造物の保全に努めるなど、市民とともに魅力ある美しい景観の形成を推進します。
- まちなか観光と連携するなど、地域と一体となって中心市街地の活性化を推進します。
- 各種芸術文化の成果発表の機会の充実を図るなど、市民と一体となって、芸術・文化を振興します。
- 老朽化した小学校の改築や社会教育施設の充実など教育環境の整備を推進します。
- 身近な道路の整備を推進するなど、良好な住環境の整備を推進します。
- 県から譲与される会津学鳳高校の建物と土地については、市の財産として有効活用を図った後、市民の合意を得た上で地域振興に資する利活用を図ります。
- 行政サービスの拠点として、さらには、地震等の自然災害発生時の防災の拠点として、本庁舎機能を有する庁舎の整備を検討します。



主な取り組み

- 史跡若松城跡の保存整備
- まちなか観光の推進
- 路地の整備
- (仮称)生涯学習総合センターの整備
- 行仁小学校の改築
- 謹教地区コミュニティセンターの整備
- 高瀬東山線の整備促進
- インター南部幹線の整備推進
- 会津若松駅中町線の整備推進
- 人にやさしいみちづくり歩道整備の推進(市道幹I-11号線)
- 本庁舎機能を有する庁舎の整備検討
- 歴史的景観指定建造物の指定と支援
- 商店街の魅力向上への支援
- 多様な芸術文化・美術品を鑑賞する環境の充実
- 鶴城小学校の改築
- 鶴城地区コミュニティセンターの整備
- 国道118号(亀賀門田線)の整備促進
- 稲荷山七日町線の整備推進
- 藤室鍛冶屋敷線の整備推進
- 市道幹I-6号線の整備推進
- 県から譲与される会津学鳳高校建物・土地の有効活用と整備

